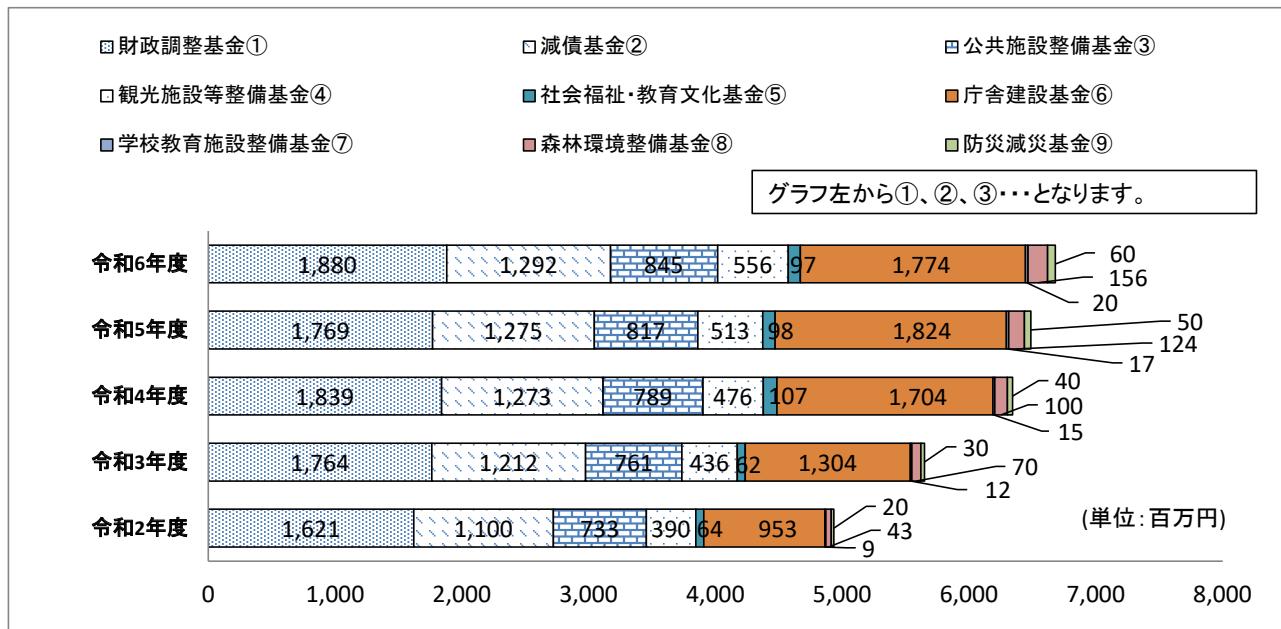


## 【積立基金の推移】



積立基金（町の貯金）の現在高は、地方交付税の交付増などにより積み増すことができました。しかしながらこれらの積立基金は、奥多摩処理区下水道整備事業に要した起債（借金）の償還（返済）や役場庁舎をはじめとする公共施設などの老朽化対策費用の財源として活用していく状況にあります。

町では、自前で確保できる収入（自主財源）に比べ歳出が非常に大きい状況にあり、財源依存している国や東京都の今後の財政状況によっては、厳しい財政運営を強いられる可能性があります。

## 【令和6年度特別会計決算総括表】

会計名	歳入決算額	歳出決算額	収支差引額
都民の森管理運営事業特別会計	9192万8千円	7776万5千円	1416万3千円
山のふるさと村管理運営事業特別会計	1億8086万3千円	1億6777万9千円	1308万4千円
国民健康保険特別会計	6億7809万6千円	6億4412万6千円	3397万円
後期高齢者医療特別会計	2億4100万1千円	2億3340万6千円	759万5千円
介護保険特別会計	8億5261万5千円	8億4562万8千円	698万7千円
合計	20億4450万3千円	19億6870万4千円	7579万9千円

特別会計は令和6年度から下水道事業会計が公営企業会計に移行したため、5つの会計となりました。特別会計の決算額（合計）は、前年度に比べて歳入で1.0%、歳出で0.4%の増となっています。主な増要因は、山のふるさと村において設備の老朽化に伴う修繕費が増となったことによるものです。